

令和6年度 上田市指定管理者モニタリング評価調書

【施設概要】

施設名称		上田市中心サービスセンター				
指定管理者名		社会福祉法人 上田市社会福祉協議会		料金制導入区分	利用料金	
指定管理期間		令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日 （ 5年間 ）				
施設所管課		福祉部 高齢者介護課		担当者(内線)	小石井・佐藤 (1468)	
設置目的		在宅の要介護高齢者及び要介護となるおそれのある高齢者等の自立的生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図るとともに、家族の負担の軽減を図る				
指定管理者が行う業務内容		・センターの利用許可に関する業務 ・センターの施設、設備等の維持管理に関する業務				
管理業務の状況	作業項目	作業内容		回数	実施日	実施状況
	清掃	館内清掃		1日1回	毎日	職員が実施
	消防設備点検業務	防火管理者による点検		1日1回	毎日	防火管理者が実施
	消防設備点検	有資格者による点検		年2回	9月・3月	専門業者に委託
	自動ドア保守点検	有資格者による点検		年3回	6月・10月・2月	専門業者に委託
職員の配置状況	役職等(職務内容)				計画	実績
	管理者(全体の運営統括・施設管理)				1 人	1 人
	生活相談員(介護計画・相談・苦情受付)				4 人	4 人
	看護師(看護業務・機能訓練指導員)				2 人	2 人
	介護員(介護業務)				6 人	5 人
施設の 利用状況	利用区分等	設定目標値	R6年度実績	達成率	R5年度実績	前年度比
	デイサービス利用者	5219 人	4855 人	93.0 %	5004 人	97.0 %
		人	人	%	人	%
		人	人	%	人	%
		人	人	%	人	%
	開館日数	307 日	延べ利用者数 (R6)	4,855 人	一日あたり利用者数	16 人
	(施設所管課による評価)					
	・年間を通じて行事を行っており、利用者の増加を図っている ・新型コロナウイルス感染症の影響は弱まったが、引き続き感染症対策の徹底と利用促進を図っていただきたい。					
自主事業の状況	事業・イベント名(内容)			開催日時	参加者数	
	(施設所管課による評価)					

【収入・支出の状況】

(金額単位:円)※ 消費税額含む

			項目	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	令和6年度 決算額	備考
指定管理者	指定管理業務	収入	居宅介護料収入	34,984,970	39,811,390	37,992,000	34,193,372	
			利用者利用料収入	3,258,505	3,501,634	7,527,000	4,234,238	
			利用者等利用料収入	0	0	0	3,217,604	
			補助金収入	950,498	0	0	0	
			雑収入	0	351,212	25,000	139,449	
		計	39,193,973	43,664,236	45,544,000	41,784,663		
		支出	人件費	31,200,391	30,198,395	29,825,000	29,455,610	
			事務費	236,525	205,029	310,000	188,040	
			水道光熱費	1,767,257	1,559,914	1,658,000	1,748,650	
			燃料費	1,306,813	1,333,743	1,620,000	1,315,113	
			業務委託費	3,627,240	4,802,650	3,868,000	5,269,999	
	その他事業費		5,141,334	4,501,806	8,263,000	5,509,042		
	計	43,279,560	42,601,537	45,544,000	43,486,454			
	差引		△ 4,085,587	1,062,699	0	△ 1,701,791		
	自主事業	収入						
			計	0	0	0	0	
		支出						
			計	0	0	0	0	
		差引		0	0	0	0	
市	歳入							
		計	0	0	0	0		
	歳出							
		計	0	0	0	0		
差引		0	0	0	0			
総合計			#####	#####	0	△ 1,701,791		

【施設所管課による評価】(全施設共通評価項目)

	評価項目	判 断 基 準	評価
施設管理	施設の運営・清掃の状況	事業計画等に基づき、施設運営に必要な人員と有資格者が配置されているか。責任者や指揮命令系統は明確か。	○
		条例に基づく「開館(場)時間」や「休館(場)日」が遵守されているか。	○
		事業計画等に基づき、利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているかどうか。	○
	光熱水費・環境への配慮の状況	施設の利用状況等に応じて、適切な使用量となっているか。 (※電気・ガス・水道・燃料の使用がない施設は評価対象外)	○
		省エネ、温室効果ガス削減やごみの減量化・分別を行っているか。	○
	設備・備品の保守・管理状況	消防設備は法令等に基づき点検が行われているか。避難経路に障害物はないか。 (※消防設備が不要な施設は評価対象外)	○
		事業計画等に基づき、施設や設備の点検、必要な修繕が適切に行われているか。	○
		備品に過不足がなく、適切に管理されているか。	○
	事務手続きの状況	第三者への業務委託は適正に行われているか。	
		条例や基本協定書に規定する事業計画書や事業報告書等の書類が遅滞なく提出されているか。また、内容は適切か。	○
財務状況	収入の状況 (※無料施設は評価対象外)	収支予算に基づき、必要な収入が確保されているか。	○
		収入増に向けて、PR等の取組が行われているか。	◎
		料金の徴収や減免等の手続きが適切に行われているか。	○
	支出の状況	収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか。 施設運営に不要な経費の支出がないか。	○
	経理事務・帳票類の保管等	経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか。	○
		管理費用の執行状況は適正か。	○
安全対策・危機管理	個人情報の保護・施設管理上の秘密の保持等	利用者名簿等の個人情報適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか。	○
		施設や金庫等の鍵・暗証番号等、施設管理上の秘密の管理者や管理方法が明確であり、適切に管理されているか。	○
	利用者の安全対策・緊急時の対応	緊急・災害時の対応マニュアルや連絡体制が整備されるとともに、避難訓練等、必要な取り組みが行なわれているか。	○
		危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか。	○
		管理業務仕様書と基本協定書で指定する施設賠償責任保険に加入しているか。 (※加入不要な施設は評価対象外)	○
利用者サービス	利用者サービス向上の取組	アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組が整っているか。	◎
		対応する職員によって提供するサービスに差が生じないように、職員に対する研修等、適切な対応が行われているか。	○
	施設利用者への対応	利用者が気持ちよく利用できるよう、接客マナーや施設利用に係るサービスは適切であるか。	◎
		特定の利用者を優遇したり、利用を制限していないか。	○
従業員の労働条件	労働条件の明示、帳簿類の整備等	労働契約書(労働条件通知書)が適正に整備されているか。	○
		法定三帳簿(労働者名簿、出勤簿、賃金台帳)が適正に整備されているか。	○
		就業規則が適正に整備されているか。	○
		36協定が適正に締結されているか。	○
	労働条件の内容	労働時間の管理は適正か。	○
		賃金の管理は適正か。	○
		年次有給休暇の運用・管理は適正か。	○
	各種保険・安全衛生	社会保険・労働保険に加入しているか。	○
		安全衛生の管理体制は適正か。	○
個別事項			
(施設所管課の評価)※「△」や「×」の評価がある場合は、改善対応を記載			

【指定管理者による自己評価】(セルフモニタリング)

(1)令和6年度(令和6年4月1日～令和7年3月31日)の取り組みに対する評価

①利用者増加・利用者サービス向上への取り組み

- ・居宅介護支援事業所や地域包括支援センター等にPRをし、新規利用者の獲得に努めました。
- ・新たなレクリエーションの企画や外出行事を行いました。
- ・利用者へのサービス向上のため、申し送りの徹底、定期的なミーティングや職員間の情報共有を徹底しました。
- ・体操のボランティアを受け入れ、サービスの充実に努めました。

②経費節減に対する取り組み

- ・館内の電灯等こまめに電源を切るなど節電に努めました。
- ・人件費の削減にも努めました。
- ・物価高騰により給食内容の見直しを図った。

③その他

- ・感染症等予防のため、昨年に引き続き、消毒の徹底やマスクの着用を行いました。また利用者さんや職員の感染予防にも努めました。
- ・利用者の安全確保のために、館内設備などの点検を行いました。

(2)指定管理業務実施上の課題

- ・施設の老朽化に伴い、修繕等が必要な箇所があります。
(館内壁紙の汚れや剥がれが経年劣化により修繕箇所等が増えてきています。)

(3)次年度以降の取り組み

- ・上田市社会福祉協議会が掲げる「あったかい、心あふれる、協働のまち」のキャッチフレーズのもとに、地域住民のニーズに応え、関係機関とも協働しながら、心のこもったサービスの提供に努めます。
- ・引き続き感染症予防対策を徹底し、安心して利用できる環境づくりに努めます。
- ・サービス向上や新規利用者増加のため、居宅支援事業所等との連携やPRを図ります。
- ・職員の資質向上やサービス充実のため、研修(オンライン含)等への参加を充実します。

(4)その他

①利用者からの主な意見、苦情及び対応等

- ・館内のカーテンが破れているため何か対策をしてほしい。
- ・苦情等はありませんでした。

②市からの改善指示に対する対応(※ 市から改善指示等があった場合のみ)